



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会
発行責任者 今井 秀一
編集者 白波瀬 浩幸
〒606-8395 京都市左京区
東丸太町9-1 マンパワービル 3F
TEL・FAX 075-752-5090
E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-mu.net



CONTENTS

TOP	お知らせ
REPOT	京都府医師会・京都府臨床検査技師協会 合同学術研修会
PROCEEDINGS	理事会議事録 (第2回、第3回)
ANNOUNCEMENT	会費納入方法の変更・「臨床検査技師賠償責任保険全員」加入

新入・転入会員研修会

日時：平成22年9月2日 (木)
午後6時30分～午後7時45分

会場：ホテル京阪京都
(京都駅八条口前)

内容：「会の組織・運営などの説明」、
「研究班活動について」

分類：教育 基礎教科-008
(組織活動) 20点

午後7時45分～
会員交流・親睦会も開催します

第37回 くらしと健康展

9月18日 (土)・19日 (日)
京都府総合見本市会館 (パルスプラザ)

京都府医療推進協議会

2010 イベント

9月23日 (祝)
京都市勧業館「みやこメッセ」

上記イベントに実務員として参加いただきますと、日臨技生涯教育研修「基礎 [公益活動] : 20点」が取得できます。

REPORT

研修会報告

京都府医師会・京都府臨床検査技師協会 合同学術研修会

日時：2010年7月3日(土)

会場：メルパルク京都

梅雨とは名ばかりで熱帯地方のスコールを想わせるような天候のなか、京都メルパルクホールの会議室は満員となり、合同研修会への関心の高さを窺わせるものでありました。

さて、今回のテーマ「結核病」は、古くて新しい感染症のひとつであります。結核や感染症の第一線で御活躍されている樋口武史先生、一山智先生の御講演は簡潔で、大変わかりやすい内容でありました。

第一演題、樋口先生からは「結核検査における精度管理」についてお話がありました。特に樋口先生はこの御講演のなかで、採痰の重要性を述べられておられました。

正しく診断するすべに乏しく、検査報告までに日数を要するのが結核感染症であります。一方で唯一、塗抹検査は簡便、迅速な診断検査となるため、検査に適する良質な喀痰は正確な診断に有効であります。良質な検体を得るためには患者様への採痰指導も重要であると、樋口先生は語られておられました。



第二演題、一山先生からは「結核に関する最新知見」の御講演がありました。一山先生は、先進国のなかで結核病は日本でいまだ罹患率の高い疾患であり、再感染も有りうるということ、結核予防法から統合された

感染症法における行政上の変更点、結核菌検査のCDCガイドライン、結核の治療法に至るまで幅広くお話していただきました。なかでも、近年、多剤耐性結核菌が散見される傾向に対し、多剤耐性結核菌感染者発生の増加抑制のためにも検査の迅速化の必要性を強調されておられました。



本来、迅速性と正確性は臨床検査において両極の位置にあります。細菌検査は他の検査部門に比べ、自動化されている工程が限られており、培養という操作が必要のために正確性、迅速性にやや欠けます。しかしながら、結核感染症は塗抹検査で感染性の有無を迅速に判別できます。一方でその精度はいかに良質な検体が採取できているかが鍵をにぎり、それが検査報告の全てと言っても言い過ぎではありません。初期の段階、つまり患者様の協力こそが検査の精度を左右し、その正確な検査結果が多剤耐性結核菌感染の早期発見とその感染増加の抑制に繋がります。ゆえに検査を熟知している検査技師は患者様と信頼を築き、コミュニケーションを図りながら良質な採痰に協力してもらえ環境を整えることも重要であります。

今回の御講演から「正確」、「迅速」、「信頼」が検査に大事であることを再確認する研修会になりました。

文責：京都医療センター 岡 洋一郎

平成22年度 第2回定例理事会議事録

日時：平成22年7月8日(木)18:30~20:40

場所：京都保健衛生専門学校

議長：今井

書記：岡 議事録署名人：今井・小澤

出席者：会長 今井 副会長 白波瀬・小澤

理事：荻野・林(孝)・林(雅)・佐々木・廣瀬・青山・高嶋・中村・藤崎・岡

委任状提出：

顧問：田畑・清井 事務局：山方

欠席：早瀬・豊山・山田・笹田・辻

日臨技理事：湯浅

- ・一般検査領域の形態検査学の習得
- ・参加費 5,000 円(予定) 協賛金なし

【検討議案】

1. 京臨技精度管理調査について(今井)

- 本年度 有料参加継続
- 血液については測定機器別集計の実施を検討。
- 血液研究班より意見 管理血球が全ての測定機器に対応していない。
- 本年度も昨年同様の管理血球を使用する。
- メーカー毎に集計し評価する。

2. 「京臨技事業」の体外診断薬調達方法について(中村)
昨年6月改正薬事法施行により今後実習等で使用する試薬調達の困難さが懸念される。各研究班に通達。

3. 第37回くらしと健康展企画について(藤崎)

- 日時：2010年9月18日(土)10時~17時、19日(日)10時~16時
- 会場：パルスプラザ京都府総合見本市会館
- ・出務者 18日・19日それぞれ8名(計16名)
- ・弁当数 18日・19日それぞれ9個(業者1個分含)(計18個)
- ・駐車券 出務者分確保予定(計18枚)
- ・機材準備 (アルコール綿・絆創膏・廃棄箱・ベッドなど)
- ・展示パネル 検査紹介ポスター掲示
- ・出務者を募集 広報(8/25 締)・研究班&理事

4. 京都府医療推進協議会2010イベント出展について(高嶋)

- 日時：2010年9月23日(木)
- 会場：みやこメッセ
- ・アルツハイマー(簡易)検査を追加実施・骨密度測定を実施他も検討する。
- ・出務者 担当理事&会員ボランティア2名(予定)
- ・会員ボランティア2名を公募する。 広報(8/25 締)

5. 新人・転入会員研修会について(高嶋)

- 日時：9/3(金) or 9/2(木) or 9/10(金)で調整
- 会場：京都駅周辺(候補)キャンパスプラザ・京都タワーホテル etc
- ・案内は8月会報
- ・内容は担当理事で検討する。

6. 京臨技個人情報保護方針について・・・討議なし

【その他情報交換など】(今井)

- (大阪・兵庫・奈良・滋賀)公益法人化を準備中
- 日臨技・地方技師会の個別会費徴収制度への意見募集

配布資料

- 平成22年度 日臨技近畿地区選出役員活動報告
- くらしと健康展 (資料2~7)
- 京臨技会員動向 第2回理事会資料
- 共催・協賛・後援許可申請書(写) (一般検査研究班)
- 公益法人関連 (5部)
- 京都府保健医療功労者等表彰実施要領

平成22年度第3回定例理事会予定

8月12日(木)18:30~20:30

京都府臨床検査技師会丸太町事務所

【報告・連絡事項】

● 日本臨床衛生検査技師会(今井)

・6月12日(土)日臨技理事会 報告は[kamt-riji:003806]にて配信済み

・8月07日(土)午後6時より 意見交換会 8月08日(日)午前9時より午後4時

新法人への移行準備のための全国会長会議・代議員会議 今井会長(出席予定)

● 近畿臨床検査技師会(今井)

第2回近臨技「支部化・公益法人対策部会」

6月30日(水)大臨技事務所 報告は[kamt-riji:003836]にて配信済み

● 総務部(小澤)

- ・7月行事予定表発送6月22日(火)
- ・8月行事予定表発送7月20日(火)予定
- ・京臨技新理事挨拶状を他府県・京都府内関連団体・賛助会員へ郵送済
- ・平成22年度京都府保健医療功労者等被表彰候補者推薦依頼あり。京臨技表彰推薦委員会へ依頼済
- ・高校生の病院見学の受入れ 6月19日(土) 相馬病院5名 西陣病院6名

● 事業部(今井)

- ・京臨技会報(No.37)発行
- ・第45回京都病院学会反省会7月6日(火)ホテル日航プリンス 出席者：豊山
- 第46回京都病院学会開催決定 2011年6月12日(日)
- ・第24回京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同学術研修会開催(荻野)
- 7月3日(土)メルパルク京都「結核病について」参加者84名

● 理事行動報告(今井)

・6月19日 衛生検査所業務調査指導員研修会 大阪科学技術センター 今井会長出席

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向(小澤)・・・承認

・会員総数972名 7月7日現在

新入会2名・退会4名・転入1名・転出0名・仮会員入会0名

2. 一般検査研究班申請(荻野)・・・許可

● スキルアップ研修会(共催：臨床一般検査研究会)

日時：2010年10月9日(土)~10日(日)

会場：京都大学医学部人間健康科学科棟・京都保健衛生専門学校

・尿沈渣・穿刺液・髄液および寄生虫学の形態習得

・参加費14,000円 協賛金なし

● 第2回京阪神尿沈渣実習 With 穿刺液(共催：大臨技、兵臨技一般検査研究班)

日時：2010年9月25日(土)

会場：京都保健衛生専門学校

平成22年度 第3回定例理事会議事録

日 時：平成22年8月12日（木）18:30～21:00

場 所：京臨技丸太町事務所

議 長：今井

書 記：辻 議事録署名人：今井、早瀬

出席者 会長：今井 副会長：白波瀬、小澤、早瀬

理事：青山、荻野、岡、佐々木、笹田、高嶋、豊山、中村、藤崎、山田、辻

委任状提出：廣瀬 林孝俊 林雅弘

顧問：田畑、清井 日臨技理事：湯浅 事務局：山方

欠席理事：

【報告・連絡事項】

1. 近畿臨床検査技師会（今井会長）

・平成22年度第2回定例理事会7月28日（水）大臨技事務所

京臨技出席理事 今井、白波瀬、小澤、早瀬、荻野

・全国会長代議員合同会議の向けの意見交換

・平成22年度近臨技OB会開催の件

平成22年10月16日（土）午後6時～

滋賀県雄琴温泉「里湯昔話 雄山荘」

13時から理事会予定

2. 総務部（小澤副会長）

・8月行事予定表発送7月20日（火）

・9月行事予定表発送（予定）8月23日（月）

・第50回近畿医学検査学会アンケートを会員50施設へ郵送7月20日

・臨床検査業務啓発事業 高校生の病院見学受入れ 7月17日（土）京都工場保健会診療所 4名

・京都府より意見募集「明日の京都ビジョン」京都府HOP入力フォーム 7月24日～8月24日

・京都府より平成22年度公衆衛生事業功労者表彰推薦依頼提出期限8月17日 推薦委員会へ依頼

3. 事業部（小澤副会長）

・京臨技精度管理調査案内を府内155施設へ発送 7月30日

・会誌発行を10月配布予定で進めている

【委嘱・承認事項】

1. 会員動向（別資料1）（今井会長）・・・承認

・会員総数973名（内当年度会費未入金44名）8月10日現在

新入会3名、退会2名、転入0名、転出0名、仮会員異動なし

2. 共催、協賛、後援等（荻野副部長）

・8月28日：免疫血清班 滋賀県との合同研修会・・・承認

<協賛> アポットジャパン、富士レビオ、医学生物学研究所

・10月30日：生理研究班B 京都循環器検査研究会合同研修会・・・承認

<協賛> GEヘルスケアジャパン、第一三株式会社

3. 「認定心電検査技師制度資格更新・研修会あり方WG」委員の委嘱依頼 日臨技より

委嘱者：山田宣幸氏 期間：22年4月1日～24年3月31日

・・・承認

【検討議案】

1. 京臨技精度管理調査について（豊山理事）

・7月で発送済み

・9月上旬請求書送付、9月末 参加費振り込み締め切り

・10/19 サンプル発送準備、11月報告締め切り

・2月結果返却、3月に例年の如く、合同報告会を開催したい

2. 京臨技個人情報保護方針について（小澤副会長、山田理事）

・京都府への京臨技21年度事業終了報告に出向くために内容を決定したい

・東京は（別紙添付書類1）の文面を掲載している

・大阪は基本方針のみの掲載

・HPに載せる個人情報保護方針についてどこまで掲載するかを検討した結果、京臨技としては公にするのは安全管理基本方針（保護方針）のみで、内規までは掲載しない方針とする

3. 新人・転入会員研修会について（高嶋理事）

担当理事とスケジュールを決定

（別紙添付資料2）第12回 京臨技 新入・転入会員研修会及び懇親会スケジュール

18:40開始の『技師会より』の分担

1) 会の組織、運営などの説明・・・司会：小澤副会長

2) 學術部の活動について・・・司会：荻野學術部長

3) 各研究班の紹介・・・司会：荻野學術部長

・各研究班の紹介は毎年の如く2-3分を予定 その中で5-10分程度の時間で検査のピットフォールの話題を、どこかの研究班にお願いする（荻野氏に委任）

・尚、必要物品にPC・プロジェクターが記載されているが、今回は使用しない方向（紙面での案内にする）

・資料は事前に小澤副会長に集約 印刷して貰う

4. 日臨技認定心電技師受験資格変更について（申請期間9月1日～9月17日）（山田理事）

・平成22年度受験資格の変更について、日臨技から周知されていないため混乱する会員があったので、山田理事が情報収集した

・認定（認定一般検査及び認定心電技師）に必要な受験資格が変更になったにも関わらず、日臨技から広報されなかった問題。日臨技に問い合わせたところ『元々、補足付きの特例措置だったので、それを外しただけ』との回答。

・広報されていないのに撤廃した事が問題であるので、規定違反ではないか？一度、湯浅氏より日臨技に申し入れを行って貰う。

・必要によっては日臨技HPでの謝罪文面の掲載を申し入れる。

5. 日臨技代議委員会8月8日の報告を受けて（今井会長）

（1）日臨技会費の口座振替に伴う、京臨技会費の徴収方法について

・日臨技がまとめて徴収（振込手数料は支払う）するか、京臨技単体で徴収するかの選択肢がある

・京臨技としては、日臨技会費と一緒に京臨技会費の徴収を依頼することとする

・なお、納入方法の変更に伴う会員の利益は、口座振替にした場合、臨床衛生検査技師賠償責任保険が自動付随してくる（今まで掛けている人には月割で還元される等の措置がある）湯浅

日臨技理事)

- ・地臨技(京臨技)だけの入会も可能となるため、会員証発行、会費徴収、研修会参加や生涯教育登録などの課題が残るので、詳細運用などは継続審議とする
- (2) 精度保障施設認証制度と認証委員会設置について
 - ・日臨技の下部組織として「都道府県精度保証施設認証委員会(仮称)」設置が求められている
 - ・データ共有化事業推進委員会の担当理事+各班(血液、化学)の精度管理担当者+基幹施設(京大、府立)の検査標準化担当者を委員として立ち上げる
 - ・具体的運用については継続検討
 - ・現時点での会員からの問い合わせ窓口は、湯浅日臨技理事とする

6. 第37回くらしと健康展企画について (藤崎理事)

9月18日、19日 : パルスプラザ京都府総合見本市会館
研究班から応援出席者確定
担当理事(敬称略)

18日: 藤崎、今井、早瀬、中村

19日: 藤崎、小澤、他未確定

SMBG 1300個 アポット協力、バンドエイドは stop AIDS キャンペーン時の残りを使用

7. 京都府医療推進協議会 2010 イベント出展について 9月23日: みよこメッセ (山田理事)

7・26 医療推進協議会 打ち合わせ (1.5ブース割り当て)
協力メーカー: 日本光電、シスメックス、堀場製作所
担当理事(敬称略): 山田、青山、高嶋、荻野+ボランティア
詳細はお盆明けには確定する

8. 京臨技会計業務内規一部変更について (小澤副会長)
(別紙添付資料3)の色塗り部分を一部、改訂削除する9. 第50回全国国保地域医療学会開会式、地域医療交流会招待の件 (今井会長)
全国国保地域医療学会の開会式 会長代理として高嶋理事に出席依頼

10. ペットボトルキャップ回収事業について

400個で10円のワクチンが購入
医療関係者として率先して実践するべきと思うので、京臨技としても推進する
京臨技HPでの NPO法人エコキャップ推進協会リンク、会誌やメルマガでの広報などを行う

【その他情報交換など】

- ・第50回全国国保地域医療学会(開催日:平成22年10月8日(金)・9日(土))の参加呼びかけがあった
- ・子宮頸がん(HPV)予防ワクチン接種全額公費助成署名活動について報告があった

(別紙添付書類1) 個人情報安全管理規定 第1条~第13条
(別紙添付資料2) 第12回 京臨技 新入・転入会員研修会及び懇親会スケジュール
(別紙添付資料3) 京都府臨床検査技師会 会計業務規定

平成22年度第4回定例理事会予定

9月9日(木) 18:30~20:30

会場: 京都保健衛生専門学校 大会議室



地球に愛を 子どもに愛を
ペットボトルのキャップを集めて
世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

ゴミとして焼却処分されると
キャップ400個で3,150g
のCO₂が発生します。

ペットボトルのキャップで世界
の子どもにワクチンを届けます。

あなたの行動が世界の子どもと地球の未来を創ります!

- 小さなキャップでも、分ければ資源!
リサイクルして価値ある材料に。
- ペットボトルのキャップをみんなで集めよう!
キャップは400個で10円になります。
- ポリオワクチンは1人分20円!
キャップ800個で一人の子どもの命が救えます。

キャップ回収 → リサイクルメーカーへ売却 → 売却益をワクチン寄附団体へ寄付 → 売上金にワクチンが買えます

NPO法人(内閣府認証) エコキャップ推進協会 ECOCAP
〒251-0267 東京都平塚市平塚3-43-3 B1C107
TEL 045-250-0294 FAX 045-250-0295
http://ecocap007.com

協力: 日本労働組合総連合会、(社)日本青年会議所、労働者福祉中央協議会

エコキャップ運動 ご存じですか

ペットボトルのキャップ収集事業を行い、キャップをゴミとして焼却処分するのではなく再資源化を促進することで、焼却処分に伴うCO₂の発生を抑制し「地球環境を改善する」併せて、キャップの再資源化で得た売却益をもって「世界の子どもたちにワクチンを寄贈し救済する」などに寄与することを目的としています。

エコキャップ推進協会 (<http://ecocap007.com/>)の場合、キャップ1Kg(約400個)あたり15円でリサイクル業者に売却、うち10円が世界の子どもにワクチンを日本委員会に寄付されます。

地域等で実施されているエコキャップ運動がありましたら、ワクチン寄贈に協力できる活動であるため、私たちも医療者として積極的に参加したいと考えています。

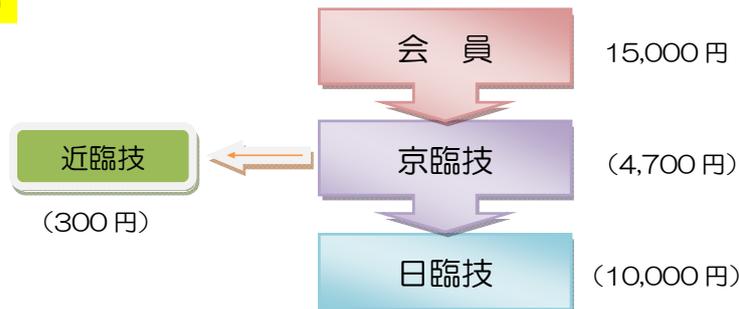
ANNOUNCEMENT

お知らせ

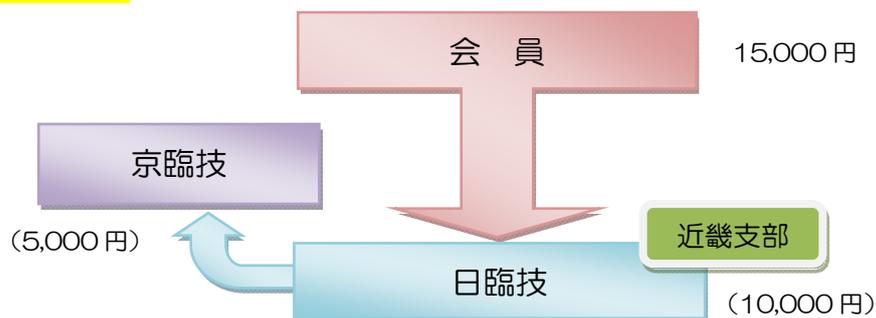
年会費の口座振替(自動引き落とし)が始まります

今までの技師会費は、京臨技が会員のみなさまから 15,000 円の入金を受けた後に、京臨技から日臨技へ 10,000 円を入金していました(図1)。平成23年度からは、日臨技会費は日臨技へ直納となります。入金方法は、口座振替やコンビニ支払いが導入されます。京臨技会費についても、日臨技会費と一緒に口座振替で入金した後、京臨技会費は、日臨技から京臨技へ入金してもらう方式で徴収する予定です(図2)。なお、会費変更の予定はありません。日臨技会費納入に関する今後の詳細については、会報 J A M T に順次案内されます。

今までの年会費納入(図1)



平成23年度からの会費納入(図2)



「臨床検査技師賠償責任保険」全員加入

医療訴訟の件数が年々増加し、医師や医療機関が支払いきれない高額な賠償金の支払い命令を受けるケースが出てきています。また、臨床検査技師が当事者となる医療訴訟も散見されるようになってきています。日臨技では、「臨床検査技師賠償責任保険」の全員加入は日臨技の社会的責任の考えのもと、平成23年6月1日から全員加入がスタートします。

保険料は会費の中から支払われますので別途に徴収されることはありません。また、会費の値上げが行われることもありません。しかし、この制度が効率的に運営されるために、前述の年会費口座振替が前提となっています。

日臨技の制度変更に対して、京臨技の対応には未確定な部分がたくさんあるため、事務局等にお問い合わせいただいても回答できない場合があります。その理由は、日臨技の制度変更がまさに現在進行形で進んでいる最中であるからです。会報 J A M T の案内を注視いただき、京臨技運営についてのご助言がありましたら、お知り合いの理事等へ意見提案をお願いいたします。